

段差検出用超音波センサ (OM5-5CN/ST)

プラットフォームで作業中のフォークリフトが後進中に転落しないように、段差の2-3m手前に来ると警報ブザーを発報します。特徴は、

- (1) 通常は路面他を検知していますが、段差があると非検知となり出力します。障害物センサの逆バージョンです。
- (2) リチウムイオンバッテリー内蔵で外部電源が不要です。1回の充電で14時間弱使えます。センサと警報が一体となって取扱いが簡便です。
- (3) 超強力クランプでリフト上部後方のヘッドガードバー(2m高)にしっかりと固定でき角度に依り2mから3mの段差までのマージンを設定できます。
- (4) ヘッドガードバーにクランプで取り付けるだけで配線と設営の手間は一切ありません。

大音量電子ブザー
95デシベル

反射板
音波は右下に飛んでいきます。

雲台ヘッド

OM5-5CN
超音波センサ先端部分

強力クランプ

OM5-5CN/ST



< 段差検知用OM5-5CN/STのセンシング概要 >

平成29年7月24日

弊社超音波センサOM5-5CNを2,000mmの高さに取付て角度を下向きに約20°付けます。この場合、リフトから段差迄の直線距離は約2,500mmです。

* 検出距離は4,000mm設定で感度はN-9(Max)

